

令和7年度 第3回 捩斐川町学校教育の在り方審議会・シンポジウム 開催要項

－ 捩斐川町の将来を見据えた学校教育の在り方について考える －

令和7年10月9日
擩斐川町学校教育の在り方審議会

1 趣旨 ◎ 捩斐川町の将来を見据えた小中学校の適正規模、適正配置及び必要な教育環境について、先行する地域の事例や教育制度の効果に学び、今後の学校教育の在り方について考える契機とする。

2 日時 令和7年12月13日（土）13:30～16:00

3 会場 地域交流センター「はなもも」ホール

4 内容

- (1) 13:30～ 開会挨拶（佐木みどり_副委員長）
- (2) 13:35～ 事例発表1 「海津市立海津小学校の誕生に込めた願い」
－ 海津市教育委員会教育長 服部 公彦 氏 －
- (3) 14:05～ 事例発表2 「義務教育学校の魅力と課題」
－ 岐阜市教育委員会教育長 水川 和彦 氏 －
- (4) 14:45～ シンポジウム
－ 捩斐川町の将来を見据えた学校教育の在り方について考える －

◇ ステージ登壇者（9名）

- <進行> 秋山 晶則（審議会委員長・岐阜聖徳学園大学教育学部長）
<発表者> 水川 和彦（岐阜市教育委員会教育長）
 服部 公彦（海津市教育委員会教育長）
<審議会> 佐木みどり（審議会副委員長・学校法人佐木学園 捩斐幼稚園理事長）
 椿井 昭二（擩斐川町代表区長会会长）
 安藤 美香（擩斐川町幼児園保護者会連合会会长）
 林 利希也（擩斐川町PTA連合会会长）
 森 允（擩斐川町PTA連合会副会长）
 久保田智也（ドリームいびがわ・代表）
<意見交換> ・フロアー（来場者）と登壇者及び審議会委員との意見交換

- (5) 15:55～ 閉会挨拶（大西 恵子_委員）

5 備考

- ・ 本シンポジウムは第3回審議会（拡大会議）とし、全20名の委員に出席を依頼する。
- ・ 事例発表1では、大規模な学校統合（5校を1校）に込められた地域住民の願いや自治体の意向、統合にあたっての課題等について話していただくとともに、現在の学校（児童、教職員、保護者、地域住民）のようすについて教えていただく。なお、近隣自治体の学校統合の事例を取り上げることで、擩斐川町における今後の学校の規模や配置の在り方について考える契機とする。
- ・ 事例発表2では、義務教育学校に関するメリット・デメリットについて示唆いただくとともに岐阜市で進められている義務教育学校の設置について情報提供いただく。なお、義務教育学校については、町議会6月定例会一般質問において、学校の形態の一つとして説明を求める住民からの声があつたことによる。
- ・ ステージ登壇者は、地域住民代表、保護者代表を中心に意見交流していただくとともに、拡大会議の中学生委員、高校生委員、大学社会人委員におかれでは、フロアーとの意見交換の際に発言していただくことができる。